

期末考査が終わりました。運動部に入っている人は、いよいよ市総体まであと1週間ですね（陸上競技部はすでに始まっていますが…）。日頃の練習の成果を十二分に発揮できるように、限られた時間を目一杯有効に活用してください。もちろん、部活だけが全てではありません。普段の学校生活を大切にしてください。有り余っている元気とやる気を、ぜひ、勉強や読書にも向けて欲しいです。今年は梅雨入りがかなり遅れているようですが、雨音を聴きながらの読書もいいものです。

夏休み課題の親玉？

7月に入ると、夏休みの課題がぼちぼち発表されます。そして、見つけてしまいます——『読書感想文』という課題。毎年、本を選ぶところから悩む人。本は読めたけど、書き出しでストップしてしまう人。書き始めたけど、3枚以上に届かないという人。その一方で、ホップ・ステップ・ジャンプ！の勢いで本決めから書き終わりまで進んでしまう人もいます。読書感想文、今年は早めに始めてみませんか？

図書館の手続き時間帯について

5月最終週から、待ち時間を解消するために貸出・返却手続きの時間帯を分けてみました。昼待ちにできていた行列もなくなり、全校生が「いただきます」の時刻に間に合うことができるようになりました。この結果を受けて、今後もこの時間帯を続けていきます。

◇昼待ち(12:35~12:50)：返却優先

※カウンターが混んでいなければ貸出も可

◇昼 後(13:10~13:20)：貸出優先

【返却日を守る気持ち】は、本を待つ誰かへの思いやり

4月末と5月12日、下のような『図書館からのお知らせ』を担任の先生から受け取った人がいますね。これは、図書館で借りている本の返却期限が過ぎていますよ、というお知らせです。中には、新着本の棚に並んでいる本を返しそびれている人もいました。人気の本なので、「先生、まだですか？」と尋ねられることもありました。

篠山中の図書館は、一人2冊まで、貸出期間は1週間です。もし、1週間で読み切れなかったときは、図書館のカウンターで延長手続きができるか、文化委員に尋ねてください。予約が入っていないければ、手続きをして、もう1週間借りることができます。

図書館の本は、篠山中の生徒と先生全員の宝物です。独り占めなんて寂しいことはせずに、その本を読んでワクワクする気持ちを、次にそれを読む誰かと共有しませんか？

ここで一つお願いです。このお知らせを受け取ったときに、「もう返却しました」「どうしよう…無くしてしまた…」など、手元にその本が無いときは、このお知らせの紙を、武田先生に直接渡してください。黙ったままでは、本の独り占めと同じになってしまいますよ。

